

## 名所めぐり

### ～旧金毘羅大芝居(金丸座)～

江戸時代に全国各地から金毘羅参りの参詣人が訪れたことにより、天保6年(1835年)に常設の芝居小屋が建設されました。

「金丸座」の愛称で親しまれたこの芝居小屋は、昭和45年に江戸末期の劇場建築を考える上で重要な建築物として評価され、「旧金毘羅大芝居」として国の重要文化財に指定されました。金丸座での歌舞伎公演は昭和60年から毎年行われ、「四国こんぴら歌舞伎大芝居」として全国から注目を浴び、四国に春を告げる風物詩となっています。

現在は、耐震対策工事のため「令和の大改修」として、令和4年3月まで休館予定ですが、1日も早く、あの活気戻ることを願っています。



グループホーム こんぴら  
サンライズ こんぴら

# こんぴら

## vol.58

2021

グループホーム こんぴら

### 行事報告

サンライズ こんぴら

### 行事報告

### 名所めぐり「金丸座」

### 利口げな話

特集:「へえ〜っ、そうなんだ!?  
〜昔の人はすごい!!〜」第52回

### 編集後記

### 関連機関

### 特集

へえ〜っ、そうなんだ!?  
〜昔の人はすごい!!〜

第52回



### ! 鼻づまりには、玉ねぎの芯でかんたん療法

鼻づまりを一時的におさえるには、玉ねぎを使いましょう。方法はとってもかんたん。

玉ねぎの白い芯の部分の鼻の近くに持って来て、鼻でなんども深呼吸。玉ねぎの臭いをたっぷり吸い込むと、鼻のとおりがよくなりすぐに効いて来ます。

\*昔から、「おばあちゃんの知恵」といわれているものは、長年の経験に基づいた先人たちの知恵の凝縮です。わたしたちも入居者の皆様から、たくさんの「へえ〜っ、そうなんだ!?知らなかった〜!昔の人はすごいなあ〜」と、実感できるアイデアを日々、教わっています。

(参考文献:宝島社 おばあちゃんの知恵袋 決定版 生活のコツ700 編集/佐藤倫子)



### 編集後記

残暑も落ち着き、過ごしやすい季節になってきました。秋といえば、食欲の秋、芸術の秋、読書の秋、スポーツの秋...などたくさんの行事やイベントがあります。引き続き、新型コロナ対策で自粛しながらも秋の味覚や香りを感じつつ、お家で秋を楽しめるといいですね。

グループホーム こんぴら・サンライズ こんぴら 広報誌「こんぴらだより」第58号  
発行元:グループホーム こんぴら・サンライズ こんぴら 編集者:こんぴらだより発行部  
住所:〒766-0002 仲多度郡琴平町167 TEL:0877-73-0811 FAX:0877-73-0812  
ホームページ <http://www.eisei-hp.or.jp/> (永生病院のホームページよりお進みください)  
eメールでのお問い合わせは [keiryokai@eisei-hp.or.jp](mailto:keiryokai@eisei-hp.or.jp) 発行年月日:令和3年10月15日

### 支援医療機関 介護保険事業所



#### 永生病院

〒769-0311  
仲多度郡まんのう町買田221-3  
Tel 0877-73-3300



#### 森内科(グループホーム こんぴら)

〒766-0002 仲多度郡琴平町167  
Tel 0877-73-4188

#### グループホーム こんぴら

Tel 0877-73-0811



#### サンライズ こんぴら

(小規模多機能型居宅介護)  
〒766-0004  
仲多度郡琴平町榎井字池田451番地1  
Tel 0877-58-8600

- いこいの郷 (居宅介護支援事業所) Tel 0877-73-3655
- いこいの家 (通所介護) Tel 0877-73-3718
- げんきの郷 (通所介護) 〒769-0311 仲多度郡まんのう町買田102-1 Tel 0877-58-8811



KEIRYOKAI  
produced by  
医療法人 圭良会

# グループホームこんぴら Group Home Konpira

## ●基本理念

家庭的温かさ・個人の尊厳を大切に、豊かな生きがいのある共同生活が送られるよう、家族の一員としての介護支援を行います

## ●基本方針

- 1.家庭的で安全な療養環境を提供します
- 2.24時間家族の一員がそばにいる安心感がもてるよう介護支援を行います
- 3.自分らしさを尊重した生活が送られるよう入居者の健康増進を図り個別性のある介護支援を行います

### ～グループホーム 入居者交流会を開催～

スポーツの秋にちなんで、足でボールを蹴りペットボトルのピンを倒す、サッカーボウリングを入居者様と職員の対抗戦で行いました。

この交流会に向け、事前に皆で応援用のボンボン作りをして、気分を高めながら当日を迎えました。ボンボンを手に応援にもいっそう気合が入り、歓声を受けながらプレイする入居者様の姿は、嬉しいような、どこか照れているような、普段見ることの出来ないとても生き生きとした表情を見せていました。ピンが倒れると、一段と盛り上がりました。白熱した対抗戦の後には、お茶とおやつでほっと一息。「楽しかった」「毎週して欲しい」という声も聞かれ、思い出に残る一日となりました。



### ～みんなでワイワイ★おやつ作り～

今回はタコ焼き器を使って、一口カステラ作りをしました。長年家事をしてきた入居者様にとって、カステラをひっくり返して焼くのなんてお手の物!!「焼くのならまかせてよ」そんな頼もしい声も聞かれ、箸を使って上手にくるくると生地を回していました。うまくひっくり返らず苦戦する方もいましたが、「こうしたら、ええんよ」と他の入居者様からアドバイスをもらい、何度も挑戦する姿は印象的でした。

次々と焼き上がり、美味しそうな匂いがユニット中に広がりました。自分達で作ったという満足感もあり、皆で食べる喜びはひとしおでした。

# サンライズこんぴら Sunrise Konpira

## ●基本理念

住み慣れた地域の中で、その人らしく暮らし続けられるよう、在宅生活の支援を行います

## ●基本方針

- 1.通い泊まり・訪問のサービスを、随時組み合わせた介護支援を行います
- 2.地域の中での関係を大切に継続するとともに、個性を尊重した支援を行います
- 3.365日24時間切れ目のない安心した在宅生活が送れるような支援を目指します

### ～秋祭りの準備～

コロナの影響でお祭りが中止となり寂しく感じます。利用者様に少しでもお祭り気分を味わっていただく為に、団扇作りを行いました。表面は「祭」という字に好きな色を塗っていただき、裏には琴平町のちょうさの写真を貼りました。利用者様は、ちょうさの写真をみて「これは〇〇若のちょうさやな」と懐かしそうに話していました。また、男性の利用者様は「昔、担いだ事あるで」等とお祭り話で盛り上がっていました。作った団扇はサンライズの秋祭りで使う予定にしています。



### ～栗拾いゲーム～

秋の季節を感じていただこうと栗拾いゲームを行いました。ゲームの前日に皆で、ボールに栗の絵を貼って準備をしました。実際にゲームをしてみると、なかなか栗を拾う事ができずしゃがみこんだり、どうすれば拾うことができるのか?と、工夫する姿がみられました。また「昔、山で栗拾いしたなあ」「栗ご飯をまた作って食べたいな。」等、昔を懐かしんでいました。これからも利用者様に季節を感じていただけるレクリエーションを実施していきたいと思えます。



## 利口げな話

第31回

認知症や介護について、分かりやすく説明したいと思います。

### 季節や気温にあった服が着られない

#### (原因と対応策)

体温調整機能の低下に加えて、時間や場所の認識がなくなる見当識障害、判断力の低下などにより、夏でも冬服、冬でも夏服などを着てしまうことがあります。

対応としては、否定したり、無理やり着替えさせたりするのではなく、アドバイスのようにさりげなく、「あと1枚着てみましょうか」と自然と季節にあった服が選べるような気づきを与えることが大切です。

また、家の中にカレンダーや季節の飾りを置くことで、季節を感じられるようにするのもおすすめです。



#### ＜×NGな対応例＞

- ・「その服じゃありませんよ」などと否定する
- ・無理やり着替えさせる

### 興奮・イライラ・暴言・暴力

#### (原因と対応策)

脳機能の低下により、思ったことを上手く伝えられなかったり、自制心が働かなくて急に怒りっぽくなったりする認知症。そのもどかしさからくる不安な気持ちを上手く表現できないことで、暴言や暴力といった行動につながることもあります。

怒っている理由に見当がつかなくても、本人には必ず理由があります。このようなときは、少し距離を置いて気分を落ち着かせてもらいます。冷静になった後に、怒りや不安になった原因を聞いて、解決するように努めてください。



#### ＜×NGな対応例＞

- ・「どうしてそんなことをするの!?!」と口論をする
- ・力づくで押さえつける
- ・大きな声を出して叱りつける

(参考HP: みんなの介護 <https://www.minnanokaigo.com/guide/dementia/support/>)